

評価規準の作成

音 楽

小学部2段階「A表現」ア歌唱及び〔共通事項〕(1)を
取り上げて

【参考資料】

- ◆「各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨（小学校及び特別支援学校小学部並びに中学校及び特別支援学校中学部）」⇒★

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/nc/_icsFiles/afieldfile/2019/04/09/1415196_4_1_2.pdf

（小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）

平成31年3月29日 別紙4）



- ◆「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料（令和2年4月）」⇒☆

https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_tokubetu01-1386427.pdf



※「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料」等からの引用文の一部を
斜体・太字・赤字で強調して示している部分は、山形県教育センターによるものです。

小学部2段階の「A表現」ア歌唱及び〔共通事項〕(1)

小学部【音楽】 内容			
	1段階	2段階	3段階
A 表現	ア 音楽遊びの活動	ア 歌唱の活動	ア 歌唱の活動
	(ア)音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表現すること。	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。	(ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもつこと。
	(イ)表現する音や音楽に気付くこと。	(イ)次の㉔及び㉕について気付くこと。	(イ)次の㉔及び㉕について気付くこと。
	—	㉔ 曲の特徴的なリズムと旋律	㉔ 曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わり
	—	㉕ 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉	㉕ 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わり
	(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の㉖から㉗までの技能を身に付けること。	(ウ)思いに合った表現をするために必要な次の㉖から㉗までの技能を身に付けること。	(ウ)思いに合った歌い方で歌うために必要な次の㉖から㉗までの技能を身に付けること。
	㉖ 音や音楽を感じて体を動かす技能	㉖ 範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能	㉖ 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりする技能
	㉗ 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能	㉗ 自分の歌声に注意を向けて歌う技能	㉗ 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌う技能
	㉘ 音や音楽を感じて声を出す技能	㉘ 教師や友達と一緒に歌う技能	㉘ 教師や友達と一緒に声を合わせて歌う技能

小学部【音楽】 内容			
	1段階	2段階	3段階
〔共通事項〕	「A表現」及び「B鑑賞」		
	ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。		
	イ 絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。		

小学部2段階の「A表現」ア歌唱及び〔共通事項〕(1)

内容	1段階	2段階	2段階
A 表現	ア 音楽遊びの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(ウ) 思いに合った表現をするために必要な次の㊦から㊨までの技能を身に付けること。
	(ア) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること。	(ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。	㊦ 範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能 ㊧ 自分の歌声に注意を向けて歌う技能 ㊨ 教師や友達と一緒に歌う技能
	(イ) 表現する音や音楽に気付くこと。	(イ) 次の㊦及び㊧について気付くこと。 ㊦ 曲の特徴的なリズムと旋律 ㊧ 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉	

特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編p588、590より

〔共通事項〕	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。
	イ 絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。

特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編p592より

評価規準の作成手順

1 「評価の観点及びその趣旨」(★参照)の確認

※ 各教科等の目標を踏まえて作成されている



2 「段階別の評価の観 points の趣旨」(☆参照)の確認

※ 段階の目標を踏まえて作成されている



3 「内容のまとめりととの評価規準」の作成

① 各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりととの評価規準」を作成する

評価規準の作成手順 1

～評価の観点及びその趣旨の確認～

音楽の目標

知識及び技能

曲名や曲想と音楽のつくりについて**気付く**とともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を**身に付けるようにする。**

思考力・判断力・表現力等

感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって**聴くことができるようにする。**

学びに向かう力・人間性等

音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ**態度を養い、豊かな情操を培う。**

評価の観点及びその趣旨

知識・技能

・曲名や曲想と音楽のつくりについて**気付いている。**
・感じたことを音楽表現するために必要な技能を**身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったり、身体表現で表している。**

思考・判断・表現

音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、**聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさなどを見いだし、音や音楽を味わって聴いたりしている。**

主体的に学習に取り組む態度

音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に**取り組もうとしている。**

評価規準の作成手順 2

～「段階別の評価の観点の趣旨」の確認～

2段階の目標		評価の観点及びその趣旨	
知識及び技能	曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて 気付く とともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの 技能を身に付けるようにする。	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲名や曲想の簡単な音楽のつくりについて気付いている。 ・音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったり、体を動かしたりしている。
思考力・判断力・表現力等	音楽表現を 工夫 することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって 聴くことができるようにする。	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて 考え 、どのように表すかについて 工夫したり 、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって 聴いたりしている。
学びに向かう力・人間性等	音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする 態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に表現 及び鑑賞の学習活動に 取り組もうとしている。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

①「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係の確認

A 表現

ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。

(イ) 次の⑦及び⑧について気付くこと。

⑦ 曲の特徴的なリズムと旋律

⑧ 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉

(ウ) 思いに合った表現をするために必要な次の⑨から⑫までの技能を身に付けること。

⑨ 範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能

⑩ 自分の歌声に注意を向けて歌う技能

⑫ 教師や友達と一緒に歌う技能

(特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 P.109～110)

(下線)…知識及び技能に関する内容

(長破線)…思考力, 判断力, 表現力等に関する内容

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

①「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係の確認

〔共通事項〕

(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。

イ 絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。

(特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 P.113)

(下線)…知識及び技能に関する内容

(長波線)…思考力、判断力、表現力等に関する内容

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

<参考> [共通事項]について

「内容のまとめり」と[共通事項]との関係

・[共通事項]アは、思考力、判断力、表現力等に関する内容を示しており、
[共通事項]アと各領域や分野の事項(ア)は、一体的に捉えるべき内容である。

[2段階の例]

音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考え⇒

「歌唱」の場合

⇒歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい 旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。

「器楽」の場合

⇒器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。

「音楽づくり」の場合

⇒音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の㊦及び㊧をできるようにすること。㊦ 音遊びを通して、音の面白さに気付くこと。㊧ 音や音楽で表現することについて思いをもつこと。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

<参考> [共通事項]について

「内容のまとめり」と[共通事項]との関係

・[共通事項]アは、思考力、判断力、表現力等に関する内容を示しており、
[共通事項]アと各領域や分野の事項(ア)は、一体的に捉えるべき内容である。

[2段階の例]

音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考え⇒

「身体表現」の場合

⇒身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。

「鑑賞」の場合

⇒鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くこと。

このように、**[共通事項]アは**、歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現、鑑賞の**全ての事項(ア)の文頭に位置付く性格のもの**である。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

<参考> [共通事項]について

「内容のまとめり」と[共通事項]との関係

・[共通事項]イは、知識に関する内容を示しており、全ての「内容のまとめり」において、その趣旨を踏まえて適切に指導すべき内容である。

○評価規準作成の際の[共通事項]の位置付け

- ・[共通事項]については、「3 指導計画の作成と内容の取扱い」の(1)配慮事項のウに **「『A表現』及び『B鑑賞』の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫すること」と示している。**また、[共通事項](1)の事項ア及び事項イについては、各領域や分野の事項との関連を図った上で、指導と評価を行う必要がある。なお、**事項アについては、全ての題材で必ず位置付けなければ学習として成立しないため、「思考・判断・表現」の観点の趣旨の中に位置付けている。**
- ・一方、事項イについては、改善等通知 別紙4 1ー2. 特別支援学校(知的障害)小学部及び特別支援学校(知的障害)中学部における各教科の学習の記録 音楽(1)評価の観点及びその趣旨に直接的には示していない。**事項イの内容については、「音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること」と示しており、主に「曲名や曲想と音楽のつくりとの関わり」について理解する過程や結果において理解されるものである。**

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「知識・技能」のポイント

- 事項(イ)及び(ウ)の**文末を「～している」と変更**して作成する。
- 事項にある「次の㊦及び㊧」や「次の㊦から㊨まで」の部分は、**㊦から㊨までの事項のうち、いずれかを選択して置き換え**作成する。なお、**技能に関しては「～をするために必要な」の後に適宜「, 」を挿入**する。

<参考:1 段階「A表現」(1)歌唱 及び[共通事項](1)>

- ・ 事項(イ)の㊦、㊧について(いずれかを選択)気付いている。[知識]
- ・ 思いに合った表現をするために必要な, [事項(ウ)の㊦, ㊧, ㊨](いずれかを選択)を身に付けている。[技能]

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「思考・判断・表現」のポイント

- **〔共通事項〕アの文末を「～考え、」と変更**し、その後に扱う領域や分野の事項(ア)を組み合わせ、**文末を「～している」と変更**して作成する。
- 事項(ア)では、前半部分に**「知識や技能を得たり生かしたりしながら」と示しているが**、この「得たり生かしたり」は、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」とがどのような関係にあるかを明確にするために示している文言であり、**内容のまとまりごとの評価規準としては設定しない。**

<参考:1段階「A表現」(1)歌唱 及び〔共通事項〕(1)>

音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもっている。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、
「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「主体的に学習に取り組む態度」のポイント(1)

- 当該段階の「評価の観点の趣旨」の内容を踏まえて作成する。「評価の観点の趣旨」の**文頭部分「音や音楽に親しむことができるよう、」**は、「主体的に学習に取り組む態度」における音楽科の学習の目指す方向性を示している文言であるため、**内容のまとまりごとの評価規準としては設定しない。**

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「主体的に学習に取り組む態度」のポイント(2)

- 「評価の観点の趣旨」の「**楽しみながら**」の部分は、「主体的・協働的に」に係る言葉であり、単に活動を「楽しみながら」取り組んでいるかを評価するものではない。あくまで、**主体的・協働的に取り組む際に「楽しみながら」取り組めるように指導を工夫する必要があることを示唆している**ものである。

<参考:1段階「A表現」(1)歌唱 及び〔共通事項〕(1)>

音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、
「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「主体的に学習に取り組む態度」のポイント(3)

- 「評価の観点の趣旨」の「**表現及び鑑賞**」の部分は、**扱う領域や分野に応じて**「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「身体表現」「鑑賞」より**選択して置き換える**。なお、「学習活動」とは、その題材における「知識及び技能」の習得や「思考力、判断力、表現力等」の育成に係る学習活動全体を指している。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成

【内容のまとめりごとの評価規準(例)】

内 容	内容のまとめりごとの評価規準
<div data-bbox="112 801 160 1053" data-label="Text"> <p>知識及び技能</p> </div> <div data-bbox="216 496 832 1358" data-label="List-Group"> <p>(イ) 次の㉠及び㉡について 気付くこと。</p> <p>㉠ 曲の特徴的なリズムと旋律</p> <p>㉡ 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉</p> <p>〔共通事項〕</p> <p>イ 絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。</p> <p>(ウ) 思いに合った表現をするために必要な次の㉢から㉤までの技能を 身に付けること。</p> <p>㉢ 範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能</p> <p>㉣ 自分の歌声に注意を向けて歌う技能</p> <p>㉤ 教師や友達と一緒に歌う技能</p> </div>	<div data-bbox="1020 743 1068 933" data-label="Text"> <p>知識・技能</p> </div> <div data-bbox="1122 501 1856 1158" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴的なリズムと旋律に 気付いている。 ・曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉について 気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能を 身に付けている。 ・思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声に注意を向けて歌う技能を 身に付けている。 ・思いに合った表現をするために必要な、教師や友達と一緒に歌う技能を 身に付けている。 </div>

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成

【内容のまとめりごとの評価規準（例）】

内 容		内容のまとめりごとの評価規準	
思考力・判断力・表現力等	(ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いを もつこと 。	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて 考え 、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いを もっている 。
	〔共通事項〕 ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて 考えること 。		

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【内容のまとまりごとの評価規準（例）】

内 容		内容のまとまりごとの評価規準	
学びに向かう力・人間性等	※ 2段階のウの目標参考	主体的に学習に取り組む態度	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に 取り組もうとしている。
	ウ 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする 態度を養う。		※ 必要に応じて段階別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。